

主な記事

新年のあいさつ 2
 指定管理者制度 4
 日置市成人式 6
 まちの話題 8
 市民の広場 18

HIOKI-City <http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>

HIOKI JOURNAL JAN.2006

とびおき



鹿児島県日置市

市の人口(住民基本台帳)
 総人口 53,343人(29)
 男 24,929人(3)
 女 28,414人(26)
 世帯数 22,224 (12)
 1月1日現在()は前月比
 市の面積 253.02km²

伊集院地域にある高台の新
 興住宅団地、妙円寺地区。昭
 和54年から分譲、翌55年か
 ら入居が始まり、十七年四月
 現在、千七百六十九世帯、五
 千六百十八人が暮らします。
 伊集院地域、鹿児島市のベッ
 トタウンとして発展した地域
 には市の運動施設や公園など
 が整備され、街路樹や緑地帯
 の緑に囲まれた住宅街です。



右から常深勇館長、田中輝雄主事、
平井美紀主事補

わが地域

妙円寺地区公民館(伊集院地域)
 積極的な地域「ユニティづくり」



▲夏休み中の中学生ドッジボール大会

現 在、七自治会で構成される
 地区公民館の組織が設置さ
 れたのは、児童館と併用の館が完
 成した平成七年でした。そのとき
 の自治会数は四つ、住宅や土地の
 分譲が年々進み、世帯や人口も急
 速に増えてきました。来年四月に
 は八自治会になる予定です。
 団地造成前は山と畑。新しい住
 民だけの団地単一の公民館組織づ
 くりは苦勞もありましたが「人口
 が急増する中、地域課題や生活課

今月の紙



力強く年明け
 力強い太鼓の響きを体に浴びな
 がら迎えた初日の出。一段と気が
 引き締まり、意気込みのいい一年
 のスタートに。
 (吹上青松太鼓新春初打ち
 1/1久多島神社境内)

公 民館運営上の現在の悩みは、
 人口と世帯数の増加により、
 館が狭くなり、人数の制限などで
 地区全体の行事や会合開催が制約
 されること。でも、平成二十年
 までに公民館単独館を建設する計
 画がありそれも解消されそうです。
 伊集院地域では初めての地区公
 民館主催の文化祭開催はすでに十
 一回。会場の問題もあり、これま
 では作品展にとどまっていますが、
 施設が整備されたら、発表会など
 も計画し充実させていく予定です。
 運動会や駅伝競走大会でこれまで
 多くの優勝を誇るほか、団地内一
 周のジョギング大会開催など地区
 体育協会もまとまりがあります。
防 犯教室や交通安全教室、防
 犯診断といった防犯安全全部



▲自主防犯組織「妙円寺団地守り隊」の出発式

の活動も特色があります。毎年、
 一月末には団地防火訓練を開催し、
 同時に「妙円寺団地守り隊」の出
 初め式も。「守り隊」は団地内の
 防犯や安全確保を日常生活の中で
 推進していきこうと平成十六年十月
 に発足、「守り隊」の帽子を着用
 し、ジョギングや犬の散歩時など
 にパトロールとしての機能を持た
 せようというユニークな活動です。
 子どもを取り巻く犯罪が多い昨今、
 地域で子どもを守る活動として定
 着させていきたいです。
 転入者が多く、初めて見る顔も
 珍しくない地域、これからも積極
 的な地域コミュニティづくりを心
 がけていきます。

編集たいむ

年が明けました。娘が成人式を迎
 えました。あつという間。子どもは
 成長しても自分はこの20年ほどと
 成長していません。何がほしいか
 つて聞かれたら「若さ」と答える人
 の気持ちも理解できる年齢に▼毎日
 日だれにでも等しく与えられる24時
 間は何をやってもまた何もなくな
 っても過ぎていき、だれにも待つては
 れません。消費するのにお金は要ら
 ないからとムダにしていたら大変な
 こと。一秒一秒の積み重ねがその人
 の人生に▼もつと時間があればと時
 間を惜しんで仕事しているつもりで
 も長いスパンでみればムダにしてき
 たのかもしれない。与えられる量が
 少なくなってきたわたしの時間は成
 人を迎えたばかりの若者からすると
 もつと貴重なものになってきました
 ▼12/31から1/1と一日経過し
 ただけなのに気持ちが変わる意義あ
 る元旦。年に一日でなく365日を意
 識しながら過ごせばきつと時間をムダ
 になんて思わない?今年はこのまま
 以上に時間を意識してみよう▼皆さ
 んも今この一瞬を大切に!この一年
 がいい年でありますように。

8 平成18年1月号

発行/日置市役所
 総務企画部企画課
 〒899 2592
 日置市伊集院町郡一丁目100番地
 TEL 099(273)2111
 FAX 099(273)3063
<http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>



古紙配合率100%再生紙を使用しています



日置市長 宮路高光

一体感の醸成と 将来に誇れるまちづくり

市独自の新たな歩み 議会も最善を尽くす



日置市議会議長 宇田 栄



平成18年 2006 新年のあいさつ



初日とともに走ろう (伊集院地域)

新年あけましておめでとうございませう。年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

平成十三年以降、少子高齢化社会の進展や地方分権の推進など、社会情勢が急激に変化してきたことを受けて、国全体で「平成の大合併」に取り組み、各地で市町村の再編が行われました。県内でも各地で合併協議が行われ、従来の九十六市町村が本年三月末には四十九の市町村に再編されます。

このような歴史的転換期に私も日置市は、市民の皆さまをはじめ、合併協議に携わりご尽力をいただきました関係各位のご理解により、昨年五月一日、四つの町が合併し新市としてスタートすることができました。これまで賜りましたご理解とご協力に対して、改めて厚く御礼を申し上げます。

さて、昨今の社会経済情勢をみると景気回復の兆しが感じられるとはいえず、国や地方の財政状況の悪化や少子高齢化の進展による人口構造の変化など、今後の国の基盤をも揺るがすいろいろな制度や仕組みを見直していかなければならない、いわゆる改革の時代へ突入してきています。加えて、児

童生徒の刺殺事件や耐震構造計算書の偽造問題など、人々の安全な暮らしを脅かす事件が多発してきていることを考えますとき、これまでの考え方や経験だけでは解決できないような方向へ社会全体が動いてきていることも事実です。

日置市政におきましては、このような社会経済情勢を踏まえながら、市政推進の柱となります「第一次日置市総合計画」を策定する一方で、行政改革推進委員会を中心とした行政改革にも積極的に取り組み、日置市が有する自然や歴史、文化など数多くの誇れる資源と県都鹿児島市に隣接する地理的優位性を生かしたまちづくりに取り組みたいと考えております。

その実現のために、市民の皆さまとお互いに知恵を出し工夫しながら、協働の精神に基づき、地域の一体感の醸成を図り、合併のメリットが生かされるよう一体となつて、将来に誇れる日置市のまちづくりに努めてまいります。

これまで同様に、引き続き市政へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。

新年あけましておめでとうございませう。市民の皆さまには新しい年をご家族おそろいでお健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年は、東市来町・伊集院町・日吉町・吹上町にとりましては、これまで築いてきたそれぞれの町の歴史を幕を下ろし、四町が合併して五月一日に日置市を発足させるといふ後世においても歴史的な転換の年を迎え、不安と期待の交錯した年であったと思います。

本市議会も五月二十九日に日置市最初の市議会議員三十人が誕生しました。六月九日、十日に初議会を開催し、一時も早い市民の融合や市民サービスの低下を招かないよう議会機能を整えるとともに、暫定予算等を可決するなど、十二月までに計六回の議会を行い真摯に議論を重ねてまいりました。

一方、多くの期待を受けて船出した日置市でありましたが、新市発足と同時に旧町の公共工事に絡

んで職員が逮捕されるという大変ショッキングな事件が起き、さらに事件は、業者の談合事件まで発展するなど日置市は大きなダメージを受けることになりました。

平成十八年は、あらゆる面において日置市が独自の歩みを始める記念すべき年になります。これらのことを早く払拭するとともに、新市建設の基本理念である「地理的特性と歴史や自然との調和を生かしたふれあいあふれる健やかな都市づくり」に向けて、市民が力をあわせ積極的に取り組んでいくことが求められます。厳しい財政環境ではありますが、議会も最善を尽くしてまいりますので、引き続き本市議会運営等にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭に当たり、本年が市民の皆さまにとりまして、すばらしい年になりますようご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

5月



▲雨のスタートとなった日置市の発足(5/1)

日置市が誕生(1日) ▼第13回ふるさと港まつり(3日) ▼藤元地区直売所オープン(8日) ▼日吉リョクチクが「かこしま農林水産物認証制度」認証第二号(17日) ▼市高齢者クラブ連合会発足(20日) ▼市長・市議会議員選挙が執行され宮路市長と議員30人が決定/投票率78・31%(29日)

6月

せつべとべ(5日) ▼田代教育長が就任(11日) ▼ゆすいん学寮(19) 24日

7月

体育指導委員会/30人に委嘱状交付(1日) ▼吹上浜キャンプ場開き(8日) ▼市農業委員選挙が執行され委員23人が決定(10日) ▼日置地区体育大会(10・17・24日) ▼吹上浜クリーン作戦(16日)

平成17年

市の動き



▲地域運動会は各地で継続(10/3)

行/投票率73・23%(11日) ▼県民体育大会肝属大会に27人参加(17・18日) ▼伊集院ドーム(仮称)新築工事着工(28日)

10月

第18回国勢調査(1日) ▼江口蓬菜館来館者100万人達成(1日) ▼市行政改革推進委員会発足(3日) ▼市消防団結団式(5日) ▼日吉秋祭り・花火大会(8日) ▼各地域運動会(9日) ▼天昌寺祭り・山神の響炎(10日) ▼妙音十二楽演奏会(12日) ▼伊集院文化会館で全国宝くじ抽選会(14日) ▼吹上秋祭り・第50回さつま湖花火大会(16日) ▼妙円寺詣りフェスタ(22・23日) ▼妙円寺詣り行事大会(23日) ▼日置地区講演を聴く会「二宮清純氏」(27日) ▼東市来文化交流センター落成(29日) ▼伊作えびす家オープン(29日) ▼はだしのコンサート(29日) ▼日吉地域文化祭(29・30日)

11月

韓国南原市立国楽団公演(3日) ▼伊集院地域総合芸術祭(3) 5日) ▼第20回美山窯元祭り(3) 6日) ▼東市来地域文化祭(3) 6日) ▼吹上地域文化祭(5) 6日) ▼伊集院地域・吹上地域駅伝競走大会(13日) ▼日置地区

8月

17日) ▼江口浜海浜公園がオープン一部供用開始(17日) ▼国際サングラートフェスティバル(17日) ▼江口浜海浜公園海水浴場オープン(21日) ▼吹上地域マレリア親善大使派遣事業(21) 28日) ▼伊集院地域青少年海外(イギリス)派遣事業(21日) 8) 8) ▼湯田平総務助役と横山産業建設助役が就任(22日) ▼こけけ王国花火大会(23日) ▼吹上地域上石津町青少年交流事業(27日) 8) 1) ▼吹上地域青少年海外(アメリカ)派遣事業(28日) 8) 26) ▼市自治会長連絡協議会設立総会(28日) ▼伊集院地域/関ヶ原町スポーツ少年団親善交流大会(29) 31日) ▼湯之元温泉とうろう祭り・飲食店組合夏祭り(31日)

9月

関ヶ原戦跡踏破隊(2) 7日) ▼東市来地域青少年国際交流韓国訪問(3) 7日) ▼いじゅういんサマーフェスタ(6) 7日) ▼四地域に地域審議会発足(8日) ▼伊集院文化会館自主事業「小椋桂コソナート」(21日)

12月

日置地区クラブ対抗駅伝競走大会(4日) ▼第11回まるごと伊集院フェスティバル(10) 11日) ▼第23回いじゅういん梅マラソンジョギング大会(11日) ▼伊集院地域小中学校学校給食地元産米活用/飯牟礼小で給食交流会(16日) ▼市吹上高等学校活性化対策協議会発足(27日)

公の施設の活性化に向けた

指定管理者制度を導入

指定管理者制度とは

公の施設の管理運営については現在、市が直営で管理運営しているものと公共的団体等に委託しているものがあります。

これまで公共性確保の観点から、地方自治法によって公の施設の管理運営主体については、地方公共団体の出資法人や公共的団体等に限定されていました（管理委託制度）が、平成十五年の同法の改正により、幅広く民間事業者にも管理運営を委ねることができるよう「指定管理者制度」が導入されました。

これに伴い、現在、管理委託をしている施設は平成十八年九月までに原則として「指定管理者制度」に移行するか、直営にするかの選択が必要になります。

制度創設の背景には、多様化する住民ニーズに、効果的・効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用し、住民サービスを向上させるとともに、経費の節減等を図ろうとするねらいがあります。

これまでとどう違うのか？

これまでの管理委託制度と違い、指定管理者制度では、民間企業やNPO法人、ボランティア団体などさまざまな団体に管理運営を任せられるようになりまし。

管理委託制度と指定管理者制度では、主に次のような相違点があります。

管理委託制度	
管理者となることのできる相手方	公共団体、公共的団体、市の出資法人などに限定
権限と業務の範囲	<ul style="list-style-type: none"> 施設の設置者たる市との契約に基づき、具体的な管理の事務または業務の執行を行う。 施設の管理権限および責任は、設置者たる市が引き続き有し、施設の使用許可は行うことができない。
条例で規定する内容	委託の条件、相手方などを規定
契約の形態	委託契約

指定管理者制度	
管理者となることのできる相手方	民間事業者を含む法人、その他の団体（個人は除く）議会の議決を得て指定
権限と業務の範囲	<ul style="list-style-type: none"> 施設の管理に関する権限を指定管理者に委任して行わせるものことができる。 施設の設置者である市は管理権限の行使は行わず、設置者としての立場から必要に応じて指示を行う。
条例で規定する内容	指定管理者の指定の手続き、指定管理者が行う管理の基準および範囲を規定
契約の形態	協定 指定管理者の指定は地方自治法上の契約には該当しないため、同法に規定する入札の対象ではない。

指定管理者制度の対象施設

制度の対象となる公の施設は、地方自治法で「住民の福祉を増進する目的をもってその利用に供するための施設」と規定され、庁舎や研究機関などを除く大部分の公的施設で、例えば公民館や福祉施設、スポーツ施設、物産館などが該当します。

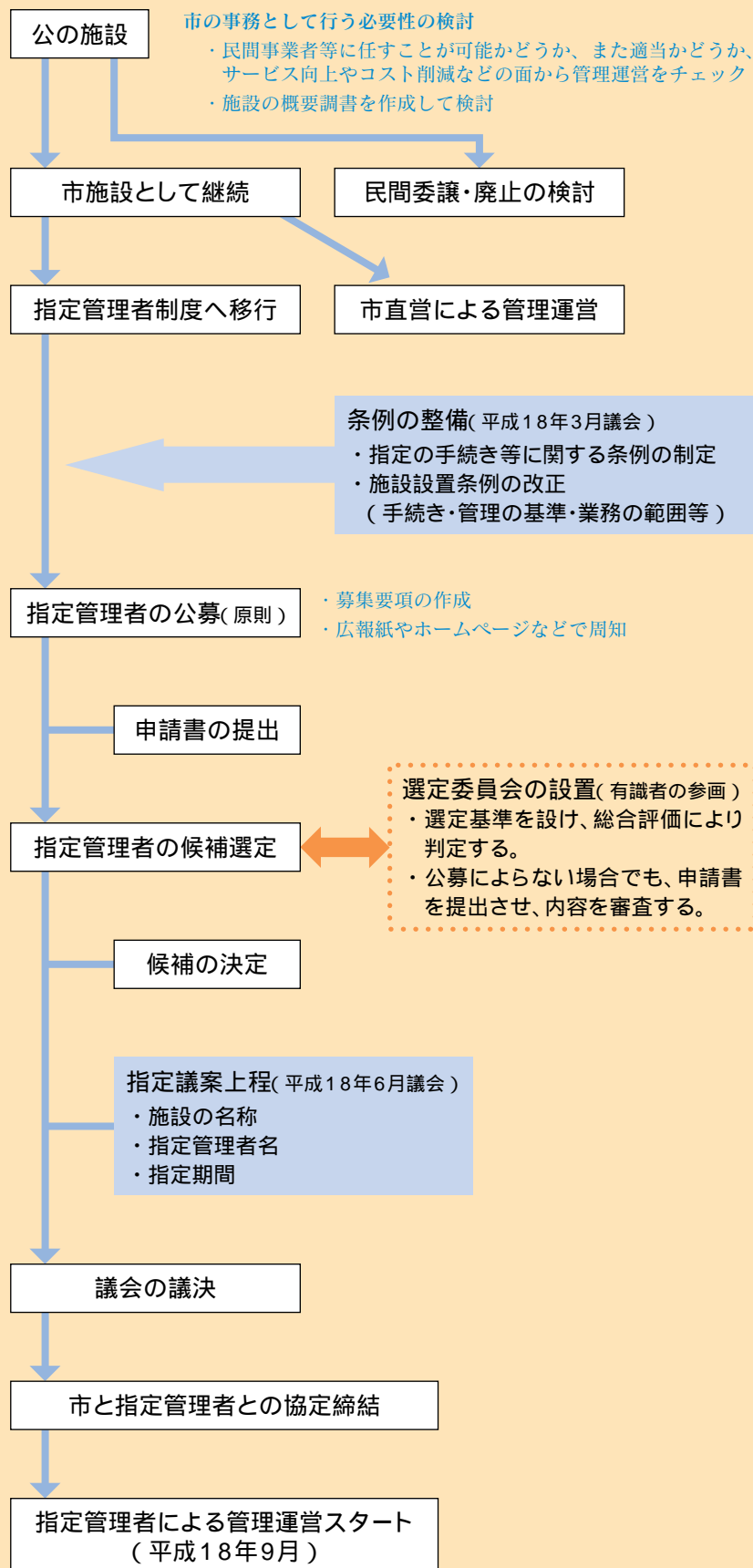
日置市では個別の法律により管理者が限定されている施設や市が管理を行わなければならない特別の理由がある場合を除き、すべての施設について制度導入を検討していきます。

具体的に考えられる主な施設は下記のとおりです。

指定管理制度の導入が検討される主な施設(略称)

- 公民館、図書館、文化会館、歴史民俗資料館、地域活性化支援センター
- 体育館、陸上競技場、テニスコート、プールなど
- 小中学校(施設開放)、幼稚園、教職員住宅など
- 総合福祉センター、福祉センター、ゆすいん、保育所、児童館、介護支援センター、介護予防拠点施設、デイサービスセンター、生きいきデイサービスセンター、保健センター、青松園、市民病院、医師住宅
- ゆーぶる吹上、キャンプ村、陶遊館、共同登り窯、江口浜荘、吹上砂丘荘、東郷茂徳記念館
- 農業農村ふれあい施設、チェスト館、構造改善センター、ひまわり館、山神の郷、森林公園、蓬莱館
- 大田ふれあい館、公衆浴場、衛生処理場、共同納骨堂、市営墓地
- 終末処理場、農業集落排水処理施設
- クリーンリサイクルセンター
- 湯之元児童公園 など ● 公営住宅
- 上水道施設、簡易水道施設
- 湯田防災センター、東市来中央防災センター
- 東市来駅前駐車場、湯之元駅前第1・第2駐車場、伊集院駅西側駐車場

導入に向けた基本的な流れ



◎この制度によって、公の施設を民間業者等が一元的に管理運営することで利用者サービスの向上と効率的な管理運営が期待されるほか、非営利活動団体(NPO)等が管理運営を行う場合には、住民が地域の施設の管理運営に主体的に参画することも期待できます。



▲ 成人式を支えた30人の実行委員の皆さん



▲ 謝辞を述べる新成人代表 重留さん



20歳 人生の節目 ~日置市成人式~



20年前には…

昭和60年(1985年)

- 3.17 科学万博「つくば博85」が開幕
- 4.1 日電と専売公社が民営化、NTTと日本たばこ産業が発足
- 6.8 淡路島と鳴門を結ぶ1696mの大鳴門橋が開通
- 8.12 日航ジャンボ機が御巣鷹山の山中に墜落、520人が死亡
- 9.28 17年間続いたドリフターズの「8時だよ!全員集合」の放送が中止
- 10.16 阪神タイガースが21年ぶりの優勝。日本シリーズも制し初の日本一

昭和61年(1986年)

- 1.28 アメリカスペースシャトル「チャレンジャー」が打ち上げ直後に爆発、搭乗員全員死亡
- 2.21 長寿世界一記録保持者、泉重千代さん120歳で死亡

日置市では

- 昭和60年7月 伊集院町住民登録が初の2万人に到達
- 昭和61年4月 東市来町にB&G海洋センター完成
- 昭和60年7月 日吉町でせつべとべふるさと便第1号発送
- 昭和60年9月 吹上町、国民宿舎「吹上砂丘荘」新館がオープン

現在、専門学校で理学療法士になるために勉強中です。理学療法士を目指そうと決心したのは高校2年、腰痛に悩まされて病院で受けたリハビリがきっかけでした。その時、自分には未知の世界であった理学療法の世界を知りました。日常生活に支障があり困っている人たちのために理学療法士になれば本望だと感じました。

夢を実現させるためには、社会も理解しなければなりません。二十歳になり、飲酒や喫煙、選挙権など権利を持ちましたが、何をすることも責任を持って行動しなければならないことを忘れてはいけません。親の力を借りることなく、自分の力で何事もやりとげられるよう頑張っています。



田中 栄徳さん (東市来中卒)

— 新成人の抱負 —

看護師の実習で赤ちゃんの誕生に立ち会うことができました。懸命にわが子を産もうとする母親、生まれてきたわが子を抱き喜びいっぱいの父親。言葉では言い表せない感動を受け、私も両親への感謝でいっぱいになりました。

事件や事故で多くの命が奪われる昨今、誕生した命を大切に、愛情豊かに育てていくためにも、やがて親になる私たち若者が、命の大切さを考えていかなくてはなりません。今まで多くの人に支えられ成長できました。社会の多くの人と支えあい、協調しなければ何事もなし得ないということを胸に刻み、一步一步、歩いていきます。両親に与えてもらった素晴らしい命を大切に自分らしく精いっぱい。



大園 理恵さん (吹上中卒)

決意新たに

689人が大人の仲間入り

一月三日、伊集院文化会館で日置市成人式がありました。これまで旧四町で開催日が異なっていました。統一しての第一回成人式となりました。

今年、新成人を迎えたのは東市来地域百五十人、伊集院地域三百三十人、日吉地域七十六人、吹上地域百三十三人の計六百八十九人(男三百五十人・女三百三十九人)。全国では昨年より七万人少ない百四十三万人、出生数が少なかった一九六六年の丙午(ひのえうま)生まれが成人した昭和六十二年に継ぐ低い水準という報道がありました。日置市でも昨年より七十六人少ない新成人でした。

式は、四地域から選出された新成人の代表者三十人で構成する実行委員会が主体となつて十月から準備、当日は、人生の晴れ舞台にふさわしく、穏やかな天候となりました。会場には振袖やスーツ、袴姿の晴れやかな新成人が続々と集まり、久しぶりの再会にあちこちで歓声が。式典では宮路高光市長が「成人とは国家や社会に対して義務を負い、責任ある行動が期待されるもの。将来の日本、地域の発展のためには若い皆さんの社会への貢献が不可欠、人生に夢を抱きチャレンジ精神で、厳しい

時代を乗り切り、日置市を担ってほしい。それぞれの社会や地域での活躍を願っています」と激励、議会や各種団体代表者、恩師、保護者らが新成人の門出を祝いました。

これにこたえて実行委員の田中栄徳さんと大園理恵さんがそれぞれ抱負(要旨別掲)を述べ、実行委員長重留啓さん(伊集院北中卒)が「地域や学校でお世話になった多くの人のおかげで成人式を迎えられたが、何よりも親の愛情を忘れてはならない。私たちの胸にはいつも親への感謝の気持ちがある。本日を機に『感謝』という言葉をしつかりと心に刻み、家庭や地域で感謝していく姿勢を忘れないようにしたい。さらにこれからは自分自身も周りから感謝される人間になりたい」と謝辞、決意を新たにしました。

新市で新たなスタートを切った成人式は、式典中のマナーが悪い参加者も一部で見られました。人生の最も大きな節目ともいえる成人を祝福し、社会の一員としての自覚を認識し、自己の向上をめざす機会に開催される成人式。自分は何をしなればならないのか。何をしたらいいのか、目標を立て責任を果たす自覚を持ちたいものです。

晩秋の里山 高山の秋を満喫

第四回高山ふるさと秋まつり

十一月二十八日、東市来地域の高山地区で、第四回高山ふるさと秋まつりが開催され、日置市内外から訪れた約二千人が里の秋を満喫しました。

同地区は東市来地域の北に位置し、高塚東、高塚西、尾木場、郷戸、桑木野、野下の六集落からなる山あいの農村地域。地区の過疎、少子高齢化が進行している中、地元住民が立ち上がり、地域の活性化にと始まった祭り、地域に残る豊かな自然や歴史を生かした体験型の祭りとして人気があります。

でのカズラ工芸、尾木場集落の棚田散策、高塚東西での餅つき・丸太切り競争、桑木野集落での竹炭・竹細工作りと、それぞれ趣向を凝らしたイベントを思い思いに楽しみ、地元の人との交流を深めていました。メイン会場の高山地区交流センターでは、地元で作った野菜をふんだんに使った豚汁や棚田米で作ったおにぎり、新鮮な白菜、大根などの農産物が販売され、にぎわいました。

また、湯之元の温泉を使った足湯も登場し、遊びや散策で疲れた足をいやせると好評でした。



韓国ふれあい隊



11人が韓国文化を学ぶ



韓国の文化に対する理解と韓国の人々との交流を深めようと十二月九日から十一日まで二泊三日の日程で韓国文化体験交流が行われ、日置市内から十一人が韓国を訪問しました。

違いを学びました。また、利川陶芸村では、韓国の登り窯や利川焼を学び、繊細で深みのある焼物に感動しました。東市来町養母から参加した北山守さんは「初めての韓国、韓国の人々の温かいもてなしに感激した。これから、韓国のことばを少しでも学びたい」と話していました。

「小さな親切」実行章



東市来地域のボランティア読書グループ「こけけ読み聞かせたい」が、平成十七年度「小さな親切」運動実行章を受章し、十月二十八日に県社会福祉センターで伝達式がありました。

この運動は、社団法人「小さな親切」運動本部（東京）が推進するもので、さりげない優しさやあたたかな思いやりに敬意と感謝を表するもの。「こけけ読み聞かせたい」の結成以来四年間の献身的

こけけ読み聞かせたいに「敬意と感謝」



な活動が認められたものです。

同グループは、東市来地域内の小学校や育児サークルなどを活動の場として、手作りの紙芝居やペーパーサート（人形劇）などを使った童話や昔話の読み聞かせに取り組んでいます。子どもたちに本の楽しさ素晴らしさを伝える活動は、子どもの豊かな心を育むことにもつながり、子どもはもちろん、保護者や教育機関関係者からも大変喜ばれています。

学びと健康、生きがいのある人生

社会教育学級運営発表会と健康づくり大会

十二月十一日、東市来文化交流センターで校区・地区社会教育協議会各学級運営発表会と人権教育講演会および東市来地域健康づくり大会の合同大会が開催され、各学級生をはじめ市民約七百人が参加しました。

各学級運営発表会では、鶴丸校区家庭教育学級、湯田校区女性学級、美山校区男子成人学級、皆田校区寿学級の皆さんが一年間の活動成果をスライドなどを使って発表。人権教育講演会で

は、三遊亭歌之介さんが「感謝のプラス志向」というテーマで講演、ユーモアたっぷりの講演は、場内を笑いと歓声の渦に包みこみました。健康づくり大会では、健脚度測定や親子ふれあい、介護相談などのコーナーが設置されたほか、いきいき健康クラブによる転倒予防教室の活動が報告されるなど、参加者は有意義な一日を過ごしました。



過去最多の2,568人が快走

梅マラソン

いじゅういん梅マラソンジョギング大会が十二月十一日、伊集院総合運動公園陸上競技場を中心としたコースで開催されました。昭和五十九年に二百五十二人の参加でスタートした同大会はこれが二十三回目。遠くは東京都をはじめとする関東や九州、県内各地からこれまで最多の二千五百六十八人が参加。記録に挑戦したり、初冬の景色を楽しみながら、それぞれ思い思いのペースでさわやかな汗を流しました。

市内参加者の上位入賞者は次のとおりです。
(敬称略 三位まで)

- ◇ファミリー 1位 今田ファミリー(東市来町)
- ◇3キロコース 一般男子 1位 元山哲郎(伊集院町) 3位 野崎俊和(伊集院町)
- ◇4キロコース 中学生男子 1位 有村優樹(伊集院町) 2位 藤脇孝哉(伊集院町)
- ◇5キロコース 39歳以下男子 2位 寺迫 賢(伊集院町) 59歳以下男子 2位 柿内和浩(伊集院町) 39歳以下女子 2位 山口三子(伊集院町) 59歳以下女子 3位 入木奈穂美(伊集院町)
- ◇10キロの部 レーサー 2位 徳重祐児(伊集院町) 3位 橘木宏幸(伊集院町) 39歳以下男子 2位 早瀬道正(伊集院町)



12月10日から11日まで2日間、伊集院総合運動公園で「まるごと伊集院フェスティバル」があり、市内外から1万5千人を超えるお客さんでにぎわいました。農業や商工業など、各産業にかかわる人やまちづくり団体などが一堂に集まり、伊集院地域の魅力をPRしようと始まったこのイベントは今年で11回目。日置市となって初めての開催に、他の地域からの参加もあり大いに盛り上がりました。会場にずらりと並んだ農産物や加工品などの特産品販売コーナーは朝早くから買い物客が押し寄せる盛況ぶり。ステージでは子どもたちの踊りや演奏などを楽しみ、1万人に振る舞われる恒例の伊集院鍋はおいしいと評判で、あっという間に底をつきました。また、会場では共同募金歳末たすけあい運動の募金活動も行われ、10万円を超える善意が寄せられました。市社会福祉協議会を通じて福祉サービスに生かされます。

まるごと伊集院フェスティバル 魅力満載でPR

地場産米で生産者とおいしい給食

飯牟礼小給食交流会

十二月十六日、飯牟礼小学校で給食交流会がありました。これは食の安心・安全を確保する地産地消の推進のひとつで、伊集院地域の小中学校ではこの日初めて、地産の米を給食に取り入れられました。交流会には米を提供してくれた

地元の生産者、古城自治会の西山益穂さんをはじめ、市長や教育長らが参加、五、六年生と一緒に給食を囲みました。毎日、給食を楽しみにしているという児童らは、十月に収穫された精米されたばかりの新鮮な米を「い

つもよりおいしい」とあつという間に平らげ、生産者を前に食をより身近に感じた楽しい給食となりました。食を終えてから、米ができるまでの生長過程を教わったり、西山さんの米作りの苦労話を聞いたたりしながら意見交換。どんな種類があるのか?おいしい米を作る秘けつは?など多くの質問が寄せられました。

この日、一日で給食に消費された米は約二千七百食分、二百二十キ。伊集院地域の小中学校の給食を賄うには、かなりの量の食材を確保しなければなりません。今後、毎月一回は地産地消に取り組み、一品でも多く地産農産物を提供していく予定です。



学校に図書館を



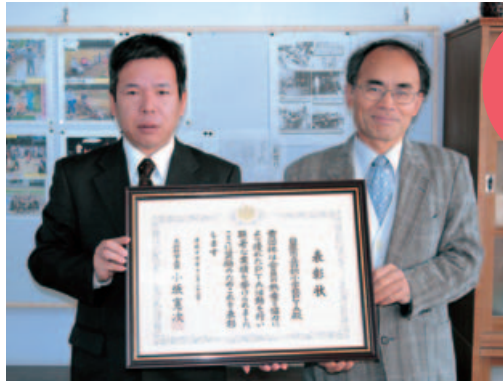
十一月にあった「かしこい消費者大会」のバザー益金を図書購入費にと、十二月五日、伊集院地域女性団体連合会から地域内のすべての小中学校に寄付がありました。学校に図書購入費として寄付するのは数年ぶり。船迫ノブ子会長は「地域の教育のために役立ててほしい」と笑顔で話していました。

ジュニアオーケストラ演奏会



チャリティゴルフ大会

12月11日、第4回共同募金チャリティゴルフ大会が開催され、61,571円の募金が、また、吉利体育協会主催の第7回吉利体協ゴルフ大会においても、27,776円の募金が集まりました。ご協力いただいたゴルファーの皆さん、ありがとうございました。



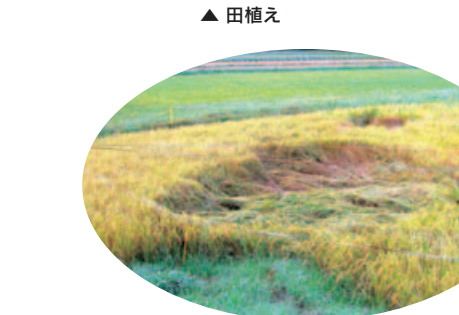
日新小 PTA

文部科学大臣表彰

日新小 PTA が優良 PTA として 2005 年度文部科学大臣表彰を受けました。同 PTA では親子読書活動や毎月の定例子ども会活動をはじめ、郷土芸能の練習など地域住民と連携した活動を進めており、長年伝統的に培ってきた活動が評価されました。神会長と野平校長先生は「小さな校区での活動、地域の協力があつてこそ。日新小 PTA が受賞したというより、校区全体、地域の人と一体となった受賞」と振り返りました。



▲ 種まき作業 (苗づくり)



▲ 田植え

▲ 病害虫被害は心配させました



▲ 鎌を使つての稲刈り



▲ 収穫祭でつきたての餅を食べる



▲ 昔ながらの脱穀作業

苗づくりから収穫、脱穀まで伝統の米づくり

吉利小学校

種から始まって口に入るまで、保護者と一緒になつて一連の米づくりの作業を学ぶ恒例の行事が今年度も吉利小学校でありました。保護者の代表、上原孝一さんと樋元和則さんを米づくりアドバイザーとして迎え、種の消毒から、種まき、代かき、田植え、草取り、稲刈り、脱穀、販売、収穫祭といった作業を一年生

から六年生まで全員が体験します。今年度は、病害虫被害に見舞われるというアクシデントがあり、関係者を心配させましたが、無事、収穫祭を迎えることができました。この活動はすでに二十年近く続く伝統行事、米づくりの大変さや収穫の喜びをみんなに分かち合い、また次の年に引き継がれていきます。

俳句大会で学校賞を受賞

日置小学校

第7回少年少女かわなべ青の俳句大会において、日置小学校が学校賞を受賞しました。

今年度、同校では学校を挙げて「伝える力」を育てることに力を入れています。その一環として俳句にも取り組み、成果が表れました。

教室や廊下、下駄箱などには俳句や詩を展示し、日ごろから俳句に親しむふれ合い鑑賞を実施。5年生の授業で、市米農芸高校の上蘭猛先生から俳句の基礎指導を受けたのをきっかけに、1年生から6年生まで全児童に呼びかけての俳句大会への参加となりました。応募作品は全104点、うち32人が特選、入選、佳作を受賞。特選に選ばれた2年生の小正ふみや君と5年生の山之内亮君の作品は次のとおりです。(敬称略)

- あきのよる かぞくで本を 読むじかん 日置小学校2年 小正ふみや
- もう一点 シュートを決めるぞ セミの声 日置小学校5年 山之内 亮



バザーや舞台発表に多くの人が出

各地で祭り

十二月に入り、日吉地域の各地で祭りが開催されました。四日の中区公民館を皮切りに、十八日には南区公民館祭り、JA農業祭が、二十三日には北区公民館祭りと、それぞれ趣向をこらしたイベントにぎわいました。中区では野菜品評会をはじめ、各自治会の踊りや子ども会などの舞台発表、また「第十回日吉よかこい写真コンテスト」の審査発表もありました。南区では野菜品評会や村づくりで取り組む甘しょづくりの収益金でビンゴゲームや抽選会を開催し、賞品

を地域住民へ還元しました。農業祭は特設ステージでの演芸発表に人気を集まり、特に女子中学生による「ゴリエ・ペコリナイト」のステージはアンコールもでるほどの盛り上がり。北区では野菜品評会に地域のお年寄りなどが朝早くから自慢の野菜を出品。審査終了後の競り売りも、市価より安く購入できると好評でした。それぞれ、地域の特色を生かしたバザーも大好評で、店の前には品定めをし、買い求める人の人垣ができました。

南区公民館



中区公民館



JA農業祭



北区公民館





各所で冬の風物詩

クリスマスシーズンから新年にかけて、各所で趣向を凝らしたイルミネーションがまちを彩りました。下草田(写真)では点灯初日、地域の有志により来訪者に豚汁や湯豆腐が配られました。



第一生命 女子陸上競技部合宿

バルセロナ五輪マラソン4位の山下佐知子監督(写真前列中央)率いる第一生命女子陸上部が、12月5日から吹上浜公園クロスカントリーコースなどで合宿。2月にも強化合宿を行う予定です。



妙見神社相撲大会

中之里の妙見神社で11月27日行われ、家族や往年の相撲ファンらが大勢見守る土俵で、幼児から高校生、社会人まで50人を超える力士が熱戦を展開しました。



吹上町更生保護女性会 歳末助け合い運動

活動の一環として、金融機関などから寄せられたタオルや日用雑貨などの善意を12月3日、刑務所や福祉施設に贈りました。早速お礼の手紙もあり、会員は「皆様の心が繋がった」と話していました。



応援をありがとう

吹上FCがボールを寄贈

激戦の鹿児島県大会、九州大会を制し、第十二回全国クラブチームサッカー選手権全国決勝大会に出場を果たした吹上サッカークラブから十二月二十日、伊作サッカー少年団にボールが贈られました。ゲームのたびに先輩の応援に駆けつけ、熊本県で開かれた全国大会にも大勢が声をからしてくれた同少年団へのお礼として、クラブが贈ったものです。贈呈式では「君たちの応援で素晴らしい成績を残すことができました。自分の可能性を信じて練習してください」と馬場秀人キャプテンが激励を込めてボールを手渡しました。受け取った同少年団主将の平田将也君は「先輩たちを目標に一生懸命がんばります」とお礼を述べました。少年団と同じグラウンドで練習している吹上サッカークラブの快挙は、後輩への大きな励みとなっています。

昨年から久多島神社境内で行われている初打ち。

新春の初日を威勢のいい太鼓の音で迎えようと、初詣客や帰省者ら大勢が詰め掛けました。

かがり火の灯る境内に新年の朝日が差し込むと、演奏も最高潮に。

振る舞われた焼き芋と勇壮な太鼓に身も心も温かな幕開けでした。



青松太鼓 新春初打ち

威勢のいい一年に!!

伊作城で生まれ育った島津中興の祖、島津忠良公(後に日新公)が残した「日新公いろは歌」に触れ、学ぼうと、小学生カルタ取り大会が十二月十日、吹上砂丘荘で開かれました。大会は、日新公顕彰会(實吉弘道会長)が初めて主催したもので、地域内各小学校から五十七人が参加。二学年ごとに分けられた三クラスで熱戦が繰り広げられました。選手は両手を畳につけた姿勢で、詠み人の声を聞き漏らすまいと集中。直後、「パシッ」とカルタ札を取る音が響き、「ヨシッ」「しまった」と歓声が上がりました。各クラスの成績は次のとおりです(敬称略)は学校名。【一・二年クラス】一位:下園敏晃(和田)、二位:宇田愛(花田) 三位:舞田翼(和田)、四位:大迫希一朗(和田) 【三・四年クラス】一位:池田美桜(伊作)、二位:小永吉健太(花田)、三位:本田瑞葵(永吉)、四位:今村衣里(和田) 【五・六年クラス】一位:大迫唯那(花田)、二位:山口省吾(花田)、三位:大迫佳奈(花田)、四位:平野哲也(永吉)

「いにしへの道を…」 「ハイッ!!」

第1回 吹上地域小学生 「日新公いろは歌」カルタ取り大会



地道に慰問交流30年

仲年団老人ホーム慰問

吹上地区の元青年団員で組織する仲年団(上野勉団長)が十二月十一日、老人ホーム美里と光の岬を訪問し、餅つきや演芸で入所者と交流しました。この交流は、上野団長らが青年団員として活躍していた昭和五十一年からはじまり、歴代団員が受け継いできたもの。過疎により地区の青年団が消滅した後も、OBとして毎年継続し今回で三十回目。この日もこれまで同様、かまどで蒸し、きねでつきあげたもちをプレゼント。入所者も飛び入りできねを振り、もちを丸めました。昼食後は演芸会。それに先立ち団から記念の時計も贈られました。団員は練習を積んできた日本舞踊やマジックを披露。入所者から盛んな拍手を浴びました。「今日は四十年目に向けてのスタートの日」と上野団長。地道な慰問交流はさらに続きます。



生涯現役で豊かな人生を

健康づくり福祉大会

「生涯現役で豊かな人生を過ごすために」などをテーマに、平成十七年度吹上地域健康づくり福祉大会が十一月二十九日、吹上中央公民館で開かれました。平日にもかかわらず会場はほぼ満席で、平成十三年度からはじまった「元気な町民づくり運動」の広がりを示しました。事例発表では健康教育を機に生活習慣病予防に取り組む「和田地区にここ運動推進会」などの活動が報告され、参加者は日常の健康管理の大切さを再確認しました。生活研究グループは、豊富な地域産品を食べようと呼びかける寸劇「地産地消ちびねなごんな」を熱演。笑いの中に安全・安心な食生活の必要性を訴えました。健康づくりはまちづくりにつながります。皆さんも今一度、日常生活を振り返ってみてはいかがでしょうか。



わたしたちは
母子保健推進員です



一人で悩まないで！
子育てを応援します

いろいろな情報があふれる中、「これだ、これだ」と子育てに不安を感じることはありませんか？
安心して親子の笑顔があふれるまちを目指して、日置市には母子保健推進員とよばれる子育てサポーターがいます。

母子保健推進員の主な活動

- ・家庭を訪問し、健診や教室の案内をします。
- ・子育てに関する相談役になります。
- ・行政への要望などを届けます。
- ・子育てや母子保健について学びます。

「大好き」を伝えあつ子育てを！

大人だって、子どもだって、泣いて、怒っていい。思いを伝えられずに受け入れられずにいることがつらいのです。
食べさせて大きくする「からだ育て」だけでなく、抱きしめ、あやしから始まる子育てをしましょう。
Ⅱ「大好き」を伝える具体的な方法Ⅱ
その1 スキンシップでたっぷり触れ合うこと
その2 たっぷり声をかけ、真剣に怒るなど顔の表情を豊かに
その3 おしゃぶりやテレビより、人とふれあう時間を
その4 しつけさせるより、やって見せること(大人がお手本)

平成17年国勢調査結果
(要計表による速報値)
人口は52,414人(△977人)

平成十七年十月一日に実施された国勢調査による速報値が発表になりました。(この数値は調査員が把握した人口と世帯数を積算した要計表を基に集計した速報値であり、確定値と異なる場合があります。)
それによりまずと日置市の人口は五万二千四百十四人(男二万四千三百二十三人・女二万八千九百一十一人)で、前回(平成十二年)より、九百七十七人(二・

八%)の減となりました。また、世帯数は二万六十世帯で前回は十八世帯の増となりました。県内の市町村別人口の順位は前回と同じく五位です。県全体で見ると、人口は前回はより三万三千五百五十人(二・九%)減り、百七十五万三千四百四十四人。人口が増加した市町村が八市町、減少したのが六十三市町村、増減なしが一町となっております。

12月の記録的な大雪



十二月二十一日の夜から強い寒気の影響で降り出した雪は、県内各地で記録的な積雪となりました。鹿児島市では十一センチの積雪を観測し、十二月としては八十八年ぶりの記録更新。日置市も伊集院地域を中心に十数センチの積雪となり、本庁周辺も銀世界に。道路のあちこちで立ち往生する車がありました。

訂正とお詫び

広報12月号のP7「陸上記録会」の記事中走り幅跳び5年女子の1位記録の氏名に誤りがありました。次のとおり訂正してお詫びします。
誤 正
宮之前未来 ⇒ 今田 葉奈
岩元かなみ ⇒ 若元かなみ



おめでた

西吉村亜希子	早瀬葵	松元和	牧浦慎悟	宮元大空	森永みなみ	上野斗颯	米盛愛	寶来道采	齊藤優生	本庁	12月受付分(敬称略)
幸徳	聡	道正	城治	博國	一成	直樹	真司	道夫	忍	(出生児)	
郡上	麓東	平古	猪鹿倉	妙円寺1区	妙円寺3区	妙円寺4区	東市来町麓下	妙円寺3区	清藤	(保護者)	(自治会)
橋元	下野	外園	塚原かな	小田山航希	安藤かりん	西村明莉	山口礼恩	松野大晴	山口	(出生児)	
祐里	遥愛	蘭	光春	直人	匡史	下田尻	淳一	高広	洋文	(保護者)	(自治会)
茂	彰久	南宮内	東宮内	緑ヶ丘	大介	松下	向湯田	向湯田	向湯田	(自治会)	

おじやみ

小田	77	猪鹿倉	77	前屋敷よし子	75	片町	84	中草田	84
本村オナル	90	つじヶ丘区	90	黒木ヒデ	89	青松園	74	中田	74
久保義郎	49	妙円寺7区	49	有馬ハナ	87	榎園団地	12	上中里	12
久保ミカ	100	麦生田下	86	野田タミ	86	片町	83	入来	83
岩下重雄	83	末永	89	永濱ミツエ	89	下原	78	瀬戸内	78
末吉和生	78	妙円寺6区	49	小吹生代	49	小吹	92	榎下	92
船迫文字	69	麓東	89	朝日ヶ丘	89	朝日ヶ丘	83	入来	83
富元たつ江	90	元町	90	四郎園	84	大田上	88	青松園	88
東フミ	84	御領原四郎	84	外園茂	67	外園茂	89	下中里	89
宇都ミツ子	75	中神殿	98	橋口休次郎	98	宮脇	76	藤元	71
西正男	81	宮脇	81	宮脇	81	宮脇	98	下与倉	98
吉村フミ子	85	中福良	85	柳園マサ子	83	中央	72	小野馬場	72
牧迫重治	76	窪田	76	柳園マサ子	83	中央	98	志賀	98
海江田武	61	大田上	61	堀之内次男	83	皆田西	86	笠ヶ野	86
大田上	77	元湯	77	美山下南	102	内村	82	日置麓	82
大田上	61	元湯	74	皆田西	83	内村	90	若元かなみ	90
大田上	61	元湯	74	皆田西	83	内村	90	若元かなみ	90



ギョラワー 私の作品展

絵画「漁」

福添 喜信さん(76歳) 吹上町中原

教職を定年後、誘われるままに「吹上絵画クラブ」に入会。60歳からの手習いで技術はなかなか伸びませんが、平均年齢80近い仲間と楽しく、月1回の教室を楽しんでいます。身近な風景やものに興味がわき、新鮮さや美しさを体感できるようになりました。地域に密着した題材にこそが、少しでも多くの人に会員の絵を見ていただければありがたいですね。この作品は県のシルバー文化作品展で銀賞を受賞した作品です。古木や流木をいかした作品づくりも取り組み、絵の顔縁は手づくりです。



市民の広場

ウツマ まちの文化財 ⑧

一字治城(伊集院城)跡

伊集院を支配した紀姓伊集院氏(古伊集院家)が、鎌倉時代初期(12世紀初)に築城したと伝えられています。この後、島津氏の分家(新伊集院家)が伊集院を支配するようになっていきます。一字治城は、江戸時代初期に廃城になるまで使われ続けました。

南北朝時代に、新伊集院家4代当主忠國は、島津氏の大部分が北朝方についたにもかかわらず、南朝方につき、活躍しました。(1330~1350年頃)その拠点が一字治城でした。

天文5年(1536)、伊集院は島津氏の内乱で戦場になりました。一字治城は伊作島津家10代当主忠良(日新齋)と息子の島津本家15代当主貴久に攻め落とされました。貴久は一字治城を拠点に、近隣はもちろん遠く国分方面まで平定しました。貴久の息子の義久(本家16代当主)・義弘(本家17代当主)・歳久(日置島津家初代当主)・家久(永吉島津家初代当主)ら兄弟は、幼少期をこの城で過ごしています。

天文18年(1549)にフランシスコザビエルがこの城に貴久を訪ね、キリスト教布教の許可を受けたとされています。昭和24年に、伊集院町が一字治城跡の頂上に会見記念碑を建立しました。

現在、一字治城跡は城山公園として整備されており、当時の様子がかがえます。

参考文献「伊集院郷土史」



Access
本庁から車で約5分

私は十月十一日火曜日、福岡市内の小学校から日置市立住吉小学校へ転入して来ます。



ゆめめ & チャレンジ

『みんなと一緒に』

住吉小学校五年 永山 悠さん

住吉小へ転入して来て、まず一番おどろいたのは、人数ではなく制服があるということでした。転校初日の朝、制服を着て学校へ入っているのを見て、私は一瞬自分の目をうたがいました。今まで小学校に制服があるなんて、考えもつかなかったからです。住吉小へ転入してくる前に、私は福岡から来た私をみんなは受け入れてくれるのか。福岡弁を笑ってかわらないだろうか。と、とても心配でした。でも実際、その逆でみんな私をあたたかくお迎えしてくれました。住吉小の人たちは、とても良い人ばかりです。これから、楽しいこと、そうだなと、いろいろなこと、私もみんなと同じように優しく友達に接して、みんなと一緒に乗りこえていきたいと思っています。

いきいき ひと

シリーズ⑧



「そのころは農家の嫁が研修のために家を空けるのは、抵抗があった時代。でも学んだことを実際の農業経営や生活に生かしていけば理解も得られるだろうと努力」免許を取り、大型農機具など機械作業もすっかりとこなし、資金計画の勉強や経営診断を重ねながら、家族経営協定も締結。女性として農業経営に積極的に参画しています。ご主人の秀光さんと長男の竜一さんの三人での経営。「規模拡大をしたい」という長男に「信頼できるパートナーを見つけよう」と手厳しかったが、最近、竜一さんも結婚が決まり、しっかりと後継者に。「農業がしつかりしないと他の産業も栄えていきません。農業を魅力ある職業としていくために、女性ももっとあらゆる場に出てほしい。楽しいゆとりのある農業経営を目指し、積極的に経営参画してほしい。農村のよさを多くの人にアピールするにはもっと私たち農村の女性が頑張らないと」と頼もしい。「県外で調理師をする二男と協力して農家レストランもいかもしれない」農村を愛する姿が伝わってきました。

女性の積極的な経営参画で、農村のよさをアピール

乳牛共進会で毎年、優秀な成績を収め、先の全国大会でも入賞した、日置市を代表する日吉町の酪農家・迫さん一家の農業経営を支える女性農業者、千穂子さんが農家に嫁いだのは昭和50年。農家の生活に魅力を持つていた千穂子さんは、農業の傍ら、生活環境改善や女性の主体的な生活などを学ぶ女性団体の活動に若いころから積極的に参加しました。



迫 千穂子さん [55歳]

日吉町吉利(内門自治会)

近代的な農業経営を支え、女性の積極的な社会参画と活動を続ける農村女性のリーダー。日吉町生活研究グループ連絡協議会会長、日置地区生活研究グループ連絡協議会副会長 平成11年~合併まで日吉町農業委員も務める。



小山田 爽一郎くん(4歳10か月)

父 和良さん 母 博美さん
(伊集院町徳重)

■おかあさんから

健やかにたくましく育ててほしい。笑顔のすてきな爽一郎くん、友達をたくさんつくってね。



小園 愛富くん(3歳5か月)

父 洋一さん 母 光代さん
(吹上町永吉)

■おかあさんから

最近、とてもおしゃべりが上手になったアトムくん。名前のように愛に富んだ心の優しい人になってほしいなあ。

元気のあるお子さんの写真を募集しています。市内に在住の6歳以下のお子さん 氏名 生年月日 保護者氏名 お子さんの近況・お子さんへのコメント 広報へのご意見 連絡先を添えて、市役所総務企画部企画課住所は未定までお送りください。